

## 5回半田市議会定例会建設産業委員会委員長報告書

当建設産業委員会に付託された案件については、12月9日、9時30分から、委員会室において、委員全員出席のもと慎重審査しましたので、その経過と結果をご報告申し上げます。

初めに、議案第75号中、当委員会に分割付託された案件及び議案第77号については、一括議題とし、それぞれの補足説明の後、質疑に入り、主な質疑として、

JR武豊線連続立体交差化事業において、県が公共補償で対応する水路とは具体的に何か。とに対し、

鉄道高架事業用地内に存在する市の水路について、その機能回復を図るために、移設が必要となりますが、新たな移設用地の取得については、事業主である県の代わりに市が実施し、その費用を公共補償費として県から受けるものです。とのこと。

JR連続立体交差化事業の関連事業における用地取得及び物件移転補償の進捗状況についてはどうか。とに対し、

令和元年9月末時点においては、高架側道整備事業における用地取得率は、75.9パーセント、JR半田駅前土地区画整備事業における先行用地取得率は、92.8パーセントになっており、令和元年度中には、全ての用地取得及びそれに伴う物件移転補償の契約完了を目指しています。とのこと。

JR半田駅前土地区画整理事業において、減価補償金相当分の公共用地を先行して取得する理由は何か。とに対し、

通常の区画整理は、事業後に土地の評価が大きく上がるため、道路や公園などの公共用地となる土地を所有者の皆様から減歩という形で一部提供していただきますが、JR半田駅前土地区画整理事業については、中心市街地での事業であり、土地の評価が大きく上がることがないため、減歩ですべての公共用地を確保することができません。そのため、公共用地などに充てるための土地を現在、先行して取得しています。とのこと。

市債について、現在、金利が安いのに関わらず、起債を取り下げた理由は何か。とに対し、

当初予算と比べて、市の税収が多くなる見込みとなったため、起債をせずに事業を実施することが可能となったことによるものです。とのこと。

税収が増えたことにより、事業費を賄うことになったとのことだが、JR半田駅前土地区画整理事業において、事業費の投資の見込みは確定しているのか。また、事業費が増えた場合はどの様に対応するのか。とに対し、

JR半田駅前土地区画整理事業に係る今年度の事業費は、ほぼ固まってきており、現時点から事業費が大きく増加する見込みはないとの判断で起債を取り下げるものです。とのこと。

基金積立について、緑化基金積立金はどの様に活用する考えか。とに対し、

緑化基金は2,500万円程ありますが、うち191万円が、ふるさと納税によりご寄附いただいたものになります。ふるさと納税以外の基金については、亀崎にある潮風の丘緑地が県から移管をされた時に、この緑地の維持管理費として受けたものです。

ふるさと納税にかかる基金については、市内公園で必要となる植栽などの緑化整備のために積立を行っています。とのこと。

半田赤レンガ建物基金や観光振興基金積立についても、活用の考え方は、緑化基金積立金と同じでよいか。とに対し、

今年度は、これまでに、半田赤レンガ建物基金では13万5千円を、観光振興基金では32万1千円をふるさと納税によりご寄附をいただいています。これらの寄附金はいったん基金に積み立てし、必要とされる状況になった時に有効に使わせていただく予定です。とのことでした。

その後、討論を省略し、議案ごとに採決した結果、2議案とも委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

次に、議案第76号については、補足説明の後、質疑に入り、主な質疑として、

当初予算で予定されていた、直接施行支援業務委託と直接施行弁護士委託料が補正予算で取り下げられているが、代わりに移転補償費が必要となるのではないか。とに対し、

移転補償費については、昨年度の予算で計上していましたが、土地所有者との合意ができず、施行者自らが移転を行う、直接施行となる見込みとなった場合、予算は未契約で繰り越し、今年度直接施行を実施した後に、相応の移転補償費を支払う予定でいました。そのため、今年度は予算計上しておりません。

しかし、平成30年度3月中に合意ができ、移転契約を結ぶことができましたので、予算を昨年度に執行することができたものです。とのことでした。

その後、討論を省略し、採決した結果、委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

次に、議案第81号及び議案第86号及び議案第88号の3議案については、それぞれ補足説明の後、慎重審査し、討論を省略し、議案ごとに採決した結果、3議案とも委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

以上、ご報告申し上げます。